

EPR工法

下水道管渠 補修工事・管更生工事

◆特徴◆

- ・補修箇所をピンポイントで施工
- ・事前の止水が不要
- ・管路供用中の施工が可能

Engineering Plastics pipe Repair
エンジニアリング・プラスチック・パイプ修理技術

「EPR工法」は、下水道管渠を「非開削」で補修・更生することができる技術です。ガラス繊維に、「常温硬化性エポキシ樹脂」を含ませたライニング材を施工現場で硬化させて補修することができます。



①TVカメラ調査

管渠内のクラック
浸入水あり。



②樹脂計量

規定のエポキシ樹脂量を
計量します。



③樹脂含浸

樹脂を強化材に塗布し、
ローラーで含浸し、
ガラス繊維内の空気を
抜きます。



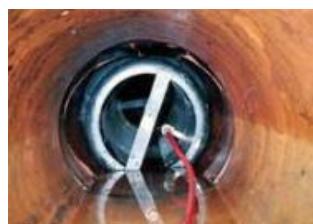
④ライニング材巻付け

ライニング材を
ホイルチューブに
巻付けます。



⑤ホイルチューブ管内搬入

ホイルチューブを管渠内に
引き込みます。



⑥エアー充填、養生

施工位置にセット後、
エアーで圧力をかけ、
破損箇所に密着させます。

ホイルチューブには通水口が
設けられており、管路供用中の
施工が可能です。



⑦修復完了

管渠内TVカメラで
確認します。



距離に応じて、EPS型やEPL型などがあります。

管径：φ100～φ800 補修距離：0.4m～3.0mに対応。
管路の曲がりや蛇行にも対応し、取付管の施工も可能です。

株式会社

アースエンタープライズ

公益社団法人 日本下水道管路管理業協会 会員

〒321-4334 栃木県真岡市八木岡 201-1

代表取締役 永島 岩男

TEL 0285-84-8562 FAX 0285-84-8563

ホームページ：<http://earth-ep.com>

業務内容

- 下水道清掃・側溝清掃
- 下水道 TV カメラ調査
- 目視調査・流量調査・誤接調査
- 漏水調査
- 下水道 管渠内補修工事(EPR工法)
- 下水道 管更生工事(3SICP)
- マンホール蓋交換工事(GM ラウンド工法)
- マンホール更生工事(エバシート工法)
- ステップ交換工事(ツインドリル工法)
- 産業廃棄物 収集運搬業
- 農業集落排水処理施設 運転管理
- 飲料水貯水槽清掃